

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	日常的に話し合っている。事務所・リビングに掲示している。		日常的に話し合っている。事務所・リビングに掲示している。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的に話し合っている。事務所・リビングに掲示している。		日常的に話し合っている。事務所・リビングに掲示している。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	リビングに掲示し取り組んでいる。		リビングに掲示し取り組んでいる。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	努めているが、近隣の方の立ち寄りには少ないです。しかし、施設見学等は随時行っています。	○	もっと気軽に立ち寄ってもらえるように職員間で話し合う。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の独居老人の会である、御食事会や地域の夏祭りに参加したりまた施設の運動会にも参加して頂いています。		地域の独居老人の会である、御食事会や地域の夏祭りに参加したりまた施設の運動会にも参加して頂いています。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	取り組んでいません。	○	職員で話し合いをする。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票・評価結果は全職員で閲覧して、それを元に話し合う機会を設けて日常のケアを振り返り入所者全員の情報を共有し緊急時にも対応出来るようにも取り組んでいる。		自己評価票・評価結果は全職員で閲覧して、それを元に話し合う機会を設けて日常のケアを振り返り入所者全員の情報を共有し緊急時にも対応出来るようにも取り組んでいる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族全員に外部評価結果を配布している。また運営推進会議には入居者・家族・地域の住人が参加しており、民生委員や地域包括センターにも参加を働きかけています。グループホームをより良く理解してもらえるように取り組みの報告・地域の情報を聞いたりしている。		家族全員に外部評価結果を配布している。また運営推進会議には入居者・家族・地域の住人が参加しており、民生委員や地域包括センターにも参加を働きかけています。グループホームをより良く理解してもらえるように取り組みの報告・地域の情報を聞いたりしている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	研修等があれば参加しているが行き来するような機会はありません。	○	運営推進会議以外にも話し合ったりする機会を作れるようにしたいです。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要があれば市町村に相談して支援している。		必要があれば市町村に相談して支援している。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等に参加して学ぶ機会を持ち防止に努めている。		研修等に参加して学ぶ機会を持ち防止に努めている。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	図っている。		図っている。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時の説明・掲示している。家族が面会に来た時等に利用者の思っている事等を聞いてもらい伝えてもらっている。		契約時の説明・掲示している。家族が面会に来た時等に利用者の思っている事等を聞いてもらい伝えてもらっている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族には一か月に一度は訪問して頂いています。他に電話連絡・便り等もしています。その時に健康状態等をお話させて頂いています。訪問時には金銭管理について明細書とレシートを手渡して確認して頂き署名・捺印して頂いています。		家族には一か月に一度は訪問して頂いています。他に電話連絡・便り等もしています。その時に健康状態等をお話させて頂いています。訪問時には金銭管理について明細書とレシートを手渡して確認して頂き署名・捺印して頂いています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時に説明をして掲示している。		契約時に説明をして掲示している。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	その都度話し合う機会を設けている。		その都度話し合う機会を設けている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	努めている。		努めている。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	努めている。異動先から行き来するようにしています。		努めている。異動先から行き来するようにしています。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に参加しています。		研修に参加しています。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に参加して情報交換や交流を図っています。		グループホーム連絡協議会に参加して情報交換や交流を図っています。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩時間等には悩みの聴取・職員相互の親睦会等を行っている。		休憩時間等には悩みの聴取・職員相互の親睦会等を行っている。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各自資格取得のため努力しています。研修時の本なども、いつでも読めるように設置しています。		各自資格取得のため努力しています。研修時の本なども、いつでも読めるように設置しています。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談時に話しなどを聴いています。		面談時に話しなどを聴いています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談時に話しなどを聴いています。		面談時に話しなどを聴いています。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所までに他のサービスの説明なども行っています。		入所までに他のサービスの説明なども行っています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人にも見学してもらい、他の入居者と接して頂き雰囲気を掴んでもらえるようにしている。		本人にも見学してもらい、他の入居者と接して頂き雰囲気を掴んでもらえるようにしている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活の中で利用者とコミュニケーションを図り、利用者の立場になり考え行動し一緒に過ごしている。昔の人からの話しや経験は学ぶ事があります。		日々の生活の中で利用者とコミュニケーションを図り、利用者の立場になり考え行動し一緒に過ごしている。昔の人からの話しや経験は学ぶ事があります。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	状態変化や気づきがあれば家族に報告して一緒に考えて頂いています。		状態変化や気づきがあれば家族に報告して一緒に考えて頂いています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所することにより家族にとって介護負担が解消された分、面会に来て一緒に外食に出かけたり・居室で一緒に食事をしたりして以前より良い関係が築けていると喜んでくれる家族が増えています。		入所することにより家族にとって介護負担が解消された分、面会に来て一緒に外食に出かけたり・居室で一緒に食事をしたりして以前より良い関係が築けていると喜んでくれる家族が増えています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族に協力してもらいながら支援しています。友人が訪問したりする事もあります。		家族に協力してもらいながら支援しています。友人が訪問したりする事もあります。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士、居室に行き来したりもしています。		利用者同士、居室に行き来したりもしています。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	大切にしています。		大切にしています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思い思いに暮らして頂いています。日々の会話の中から、思いや意向を把握するように努めています。意思疎通が困難な入居者については、表情を見ながら把握するよう心掛けています。		思い思いに暮らして頂いています。日々の会話の中から、思いや意向を把握するように努めています。意思疎通が困難な入居者については、表情を見ながら把握するよう心掛けています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面談時に本人・家族から話しなどを聴いています。		面談時に本人・家族から話しなどを聴いています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	面談時に本人・家族から話しなどを聴いています。		面談時に本人・家族から話しなどを聴いています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思い、家族の意向を聞き職員と話し合い介護計画を作成しています。		本人の思い、家族の意向を聞き職員と話し合い介護計画を作成しています。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態に変化があれば随時見直しているが特に変化がなければ6か月から1年に一回の見直しを行っています。		状態に変化があれば随時見直しているが特に変化がなければ6か月から1年に一回の見直しを行っています。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に課題ノートを作成してプランに応じたケアを提供しています。		個別に課題ノートを作成してプランに応じたケアを提供しています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望に応じて対応をしています。		要望に応じて対応をしています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	支援している。		支援している。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	支援している。		支援している。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じて協働している。		必要に応じて協働している。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時にかかりつけ医師の希望を聴き支援している。医療連携体制を取り24時間体制を取っている。医師との連携として近くの医院より月2回の往診・電話連絡等で支援をしている。		入所時にかかりつけ医師の希望を聴き支援している。医療連携体制を取り24時間体制を取っている。医師との連携として近くの医院より月2回の往診・電話連絡等で支援をしている。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	支援している。		支援している。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	居両県警体制を活用しながら支援している。		居両県警体制を活用しながら支援している。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院出来るように連携している。		早期退院出来るように連携している。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携体制を活用し重度化した場合は入所者・家族の意向を確認しながら医師と相談し職員間で方針の共有をしている。		医療連携体制を活用し重度化した場合は入所者・家族の意向を確認しながら医師と相談し職員間で方針の共有をしている。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医・訪問看護師と共に支援して取り組んでいます。		かかりつけ医・訪問看護師と共に支援して取り組んでいます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報交換を行い支援している。		情報交換を行い支援している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない		言葉かけや対応に関しては職員一同常に心がけて対応するようにする。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている		支援している。難聴の方からは筆談でのやり取りを行っている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		全体会議や行事の時等は職員側の都合になってしまうが、それ以外は入所者の希望に沿って支援している。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている		家族の協力も得て支援している。行きつけの美容院等へは家族が連れて行ってくれたりしています。カットがしたいと言う利用者がいれば施設にてカットを行います。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている		日々のメニューは利用者の希望も取り入れています。職員も同じテーブルにつき一緒に食事して出来る方には配膳・下膳等をしてもらっています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している		支援しています。欲しいものは買い物時に買ったりしています。週に一度お菓子を売りに来る日があるので、その時に買ったりしている利用者もいます。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	支援しています。排泄パターンを把握してトイレ誘導等をしています。		支援しています。排泄パターンを把握してトイレ誘導等をしています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴しています。一番風呂や早い順番を好む利用者がいますので曜日によって順番を変更して入浴して頂いています。		毎日入浴しています。一番風呂や早い順番を好む利用者がいますので曜日によって順番を変更して入浴して頂いています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	支援しています。状態の変化や希望があれば和室で就寝して頂いたりしています。		支援しています。状態の変化や希望があれば和室で就寝して頂いたりしています。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除・洗濯干し・洗濯たたみ・裁縫・花壇の手入れ・朝夕のお経等出来るだけ、これまでの生活を続けられるように支援しています。		掃除・洗濯干し・洗濯たたみ・裁縫・花壇の手入れ・朝夕のお経等出来るだけ、これまでの生活を続けられるように支援しています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時にお金を渡し援助しながら買い物をしたりしています。		外出時にお金を渡し援助しながら買い物をしたりしています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・外食・隣接のデイサービスや特養へ行ったり外気浴を行ったり支援しています。		散歩・買い物・外食・隣接のデイサービスや特養へ行ったり外気浴を行ったり支援しています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の協力を得ながら支援しています。		家族の協力を得ながら支援しています。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話をかけたり、手紙を書いたりする支援をしています。		希望があれば電話をかけたり、手紙を書いたりする支援をしています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	支援している。訪問者は居室へ一緒に行き過されています。飲食物を持って来て利用者と食べたりしています。		支援している。訪問者は居室へ一緒に行き過されています。飲食物を持って来て利用者と食べたりしています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいます。		取り組んでいます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	取り組んでいます。玄関・フロア等カギは掛けずに自由に訪問者等が行き来できるように支援しています。		取り組んでいます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	配慮しています。居室で過される利用者には、定期的に様子を伺ったりしています。		配慮しています。居室で過される利用者には、定期的に様子を伺ったりしています。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	取り組んでいます。		取り組んでいます。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	医師や訪問看護師等による緊急時の対応を聴き学んでいます。会議等でも話し合っています。		医師や訪問看護師等による緊急時の対応を聴き学んでいます。会議等でも話し合っています。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に行っています。		定期的に行っています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	働きかけています。また、消防署には書類を提出してホームでの避難訓練を実施しています。		働きかけています。また、消防署には書類を提出してホームでの避難訓練を実施しています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	リスクについて説明しています。利用者にとってよいケアが出来るように職員間でも話し合っています。		リスクについて説明しています。利用者にとってよいケアが出来るように職員間でも話し合っています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	主治医・訪問看護師・家族と連絡を取り対応しています。		主治医・訪問看護師・家族と連絡を取り対応しています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表もファイルして全職員が見れるようにしていて服薬管理担当者も決めて、症状の変化等も観察して主治医に相談したりしています。		服薬管理表もファイルして全職員が見れるようにしていて服薬管理担当者も決めて、症状の変化等も観察して主治医に相談したりしています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	取り組んでいます。排便記録表を作成して運動を施したり食事等にも注意しています。		取り組んでいます。排便記録表を作成して運動を施したり食事等にも注意しています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後には口腔ケアを行い状態の把握に努めています。状態の悪い人には歯科受診・往診をしてもらい支援しています。		毎食後には口腔ケアを行い状態の把握に努めています。状態の悪い人には歯科受診・往診をしてもらい支援しています。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分摂取量は毎回記録して、利用者の体調に合わせて食事形態も考慮しています。		食事摂取量・水分摂取量は毎回記録して、利用者の体調に合わせて食事形態も考慮しています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルもあり職員間での意識向上してもらう為にも会議でも話し合っている。		マニュアルもあり職員間での意識向上してもらう為にも会議でも話し合っている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎食の食材も検食として冷凍保存している。衛生管理に努めています。		毎食の食材も検食として冷凍保存している。衛生管理に努めています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の花・植木等を置いて利用者が水やり・手入れを手伝ってくれています。		季節の花・植木等を置いて利用者が水やり・手入れを手伝ってくれています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫しています。季節に応じた飾り付けをしています。		工夫しています。季節に応じた飾り付けをしています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファ・和室で利用者の好きな所で過せるようにしています。		リビングのソファ・和室で利用者の好きな所で過せるようにしています。

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	相談しながら利用者に良い居室作りをしています。		相談しながら利用者に良い居室作りをしています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空気の入換えは常にしている。冷暖房も常に常に入換えではなく調整しながら消したりして体調管理に努めている。		空気の入換えは常にしている。冷暖房も常に常に入換えではなく調整しながら消したりして体調管理に努めている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差のないバリアフリーにしています。物等につまづいたりしないように整理しています。		段差のないバリアフリーにしています。物等につまづいたりしないように整理しています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	歩行器等でも一人でトイレに行かれたりして自立した生活を送って頂けるように支援しています。		歩行器等でも一人でトイレに行かれたりして自立した生活を送って頂けるように支援しています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関の外にはベンチがあり季節の良い時は、食事をしたり、おやつを食べたり散歩帰りに休憩したりしています。		玄関の外にはベンチがあり季節の良い時は、食事をしたり、おやつを食べたり散歩帰りに休憩したりしています。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームすこやか(フルーツ)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

目くばり・気くばり・思いやりをモットーに日々 利用者の生活の支援に努めています。若い職員が多く活動的でホーム内でのイベントや外出にも積極的に取り組んでいます。